

Report

Company	Rainbow Rental Service Ltd.	Writer	Mr.Noboru Ito (Co-Founder)
Creation Date	2013/01/19	Attach File	2
Visit	Preah Sdach Office		
Summary	農業機械のレンタルサービスにおける状況報告書		

Report contents

12月の中旬より、現地のプレスダッチ郡にてオフィススペースを借り、このオフィスを中心として事業展開をしていきます。農機具のレンタルサービスにおいて、状況説明を含めた問題点と対応策をご報告申し上げます。

現状の問題点と考えられる対応策。

1、オーダーをされる個々の土地が小さい為、移動に時間を割かれる。

・状況説明

コンバイン、トラクターとも1日に耕作できる面積は5haですが、上記の理由で3~4ha程度しかできていません。

・対応策

各コミューン長と話し合い、コミューン長と村長達で予約管理を行ってもらえる様に話し合いを続けています。また、全てのコミューンを平行して進める事は難しい為、モデルケースとして2コミューン程度で実績を作り、同様の形態で、他のコミューンに浸透できればと考えています。

2、良質な土にする為に土壌改良が必要であることが浸透していない。

・状況説明

プレスダッチ郡の土は砂質で科学肥料を与えても流失量が多く、無駄が多い上に土の栄養価が低い為、効率良く生産を行う為には、日ごろの土作りが非常に重要となります。この土作りを助ける為に「クンタン」と「バクテリア」を掛けあわせる事に加え、日本古来の「ぼかし」と言う手作り肥料を提案しようと思っています。これらの土作りには必ず大型のトラクターが必要になる事も合わせて伝えていきたいと考えています。

良い土を作る → 化学肥料の使用量と費用が減る → 米の収量が増える → 高品質の米が沢山取れる為、収入が上がる。この様に良い土を作る事でコストカットと収入増が見込めます。土作りは時間が掛かりますが、必ず必要であることを伝えていきたいと考えています。

・対応策

- ① : 2月に専門家を呼んで各コミューンを回りセミナーを実施する予定です。これは、土作りがなぜ必要であるかと言う事と、どの様に土作りを行っていくかと言う事をお伝えしようと準備しています。また、セミナーとは別に農民が自宅で作れる「ぼかし肥料の作り方」と「クンタンの作り方」を無料でお伝えするワークショップを随時開催していこうと思っています。

②：私達が管理するテストファームが必要だと考えています。実際に土壌改良をして、化学肥料や農薬の使用量をおさえても土壌改良をする事で、収量が減らずに上がり、薬品使用量が少ない若しくは利用しない事で、味、色つや、香りなど品質が向上し、商品価値が上がる事を実際に伝え続ける事が必要であると考えています。私たちが管理監修できるテストファームに適した土地（0.5ha程度）がありましたら、ご提供頂きたくお願い申し上げます。

3、ティラーとトラクターを比較されてしまいます。

・状況説明

ティラー（手押し耕運機）とトラクターの値段を比較される農家の方が多いようです。例えば 1ha に対しての料金は、ティラーでのロータリー耕運 USD30 に対して弊社のトラクターは USD50 です。

・対応策

- ①：ティラーとトラクターでは掘り返す深さの違いと混ぜる時に混入させる空気の量が違います。良い土を作る為にはトラクターでなければいけない理由をセミナーやワークショップで伝え続けます。また、弊社のサービスを利用すると土作りに欠かせないバクテリアを無料で配布する事で、興味を持ってもらいます。
- ②：1回の米作りに必要な機械作業は、**乾燥した土地の耕運 → 水を張って耕運 → 収穫**の3工程になります。現在、いくつかのコミュニティで聞き取り調査を行っていますが、地域によってこの3工程の値段が全く違います。但し、多くの地域ではこの3工程を合わせると USD160~200 前後で行われておりますが、弊社のサービスは3工程合わせて USD160 であり、この値段が適正な価格である事とこの値段でもティラーでは無くトラクターで耕運し更にバクテリアを無料配布するという宣伝活動を続けて行きます。